

鶴岡市市制施行20周年と鶴岡アートフォーラム開館 20 周年を記念して、現在世界的に注目を集めている写実絵画の名品展を開催します。

対象をリアルに描く表現方法の写実絵画。千葉市にあるホキ美術館は世界でもまれな写実絵画を専門とする美術館です。そのコレクションは、日本を代表する現代作家たちによる約 500 点もの作品から成ります。本展覧会はこのホキ美術館が所蔵するコレクションの中から、野田 弘志 (1936-)、森本 卓介 (1937-2015)、青木 敏郎 (1947-)、五味 文彦 (1953-)、生島 浩 (1958-)、島村 信之 (1965-2024)、石黒 賢一郎 (1967-)、諏訪 敦 (1967-) といった人気のある作家から、近年注目を集めている山梨 備広 (1972-)、三重野 慶 (1985-)、羅 展鵬 (1983-)、そして若手作家の作品も加えて選りすぐりの名品約 60 点を一堂に紹介します。写実絵画は必ずしも現実 (リアリズム) ではありません。その描かれた世界は絵画的に構築されたものであり、言うなれば画家が真なるもののなかに見出した美、あるいは善が存在します。写真や映像とも違う重厚な絵画表現で描かれた驚異の超写実を心行くまで堪能ください。

会期中のイベント

開幕記念

ホキ美術館長によるギャラリートーク

展覧会の開幕を記念して、ホキ美術館館長をお招きし、一緒に会場を巡りながらお話しを伺います。
【日 時】7月12日(土) 10:00 ~ 1時間程度
【ゲスト】保木博子氏 (ホキ美術館館長)
【参加料】無料 ※ただし、観覧券が必要です。
【申 込】不要。当日、エントランスホールにお集まりください。

学芸員によるギャラリートーク

当館学芸員が、展覧会場を巡りながら展示されている作品について解説します。
【日 時】7月27日(日)、8月10日(日) 各日2回
①10:00 ~ / ②14:00 ~ 各1時間程度
【参加料】無料 ※ただし、観覧券が必要です。
【申 込】不要。当日、エントランスホールにお集まりください。



【アクセス】
■自動車: 高速山形自動車道・鶴岡ICより、鶴岡市役所を目指して約10分
■バス: JR鶴岡駅より「052系統 市内循環 Aコース 左回り」「053系統 市内循環Bコース 右回り」「055系統 市内循環 Cコース 右回り」「032/033/034系統 湯野浜温泉行」「061系統 あつみ温泉方面行」のいずれかに乗車し、「アートフォーラム前」または「市役所前」バス

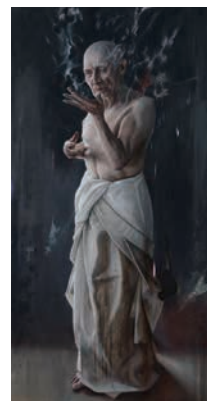
超写実 ホキ美術館名品展



1



2



3



4



5



6



7



8



9



10

1. 原雅幸《薄氷の日》2017
2. 小尾修《静寂の声》2017
3. 諏訪敦《玉眼(大野慶人立像)》2018
4. 森本卓介《モレーの橋》2010
5. 青木敏郎《秋の恵み ザクロガリン各種の器》2020
6. 羅展鵬《紫の涙》2022
7. 野田弘志《刺繍模様(薔薇)》2007
8. 島村信之《ロプスター(戦闘形態)》2009
9. 生島浩《5:55》2007-2010
10. 石黒賢一郎《Injection Deviceを持つ》2022

展覧会関連企画・美術講座

はじめての油絵～絵具チューブを描く

絵具のチューブを観察、スケッチし、油絵の基礎、素材の特徴、道具・材料を学びながら、SM キャンバス (227×158mm) に描きます。

【日 時】全2回 8月2日、9日(土)

13:30 ~ 16:30 (3時間)

【講 師】佐竹美津子氏 (白鷺社会員)

【対 象】中学生以上

【定 員】先着 12 名

【費 用】2,500 円

【申込受付】7月4日(金) ~ 26日(土)

9:00 ~ 19:00 ※休館日を除く。

【申込方法】館内受付にて費用を添えてお申込み (電話受付可)



6



7



8



9



10

【喫茶のご案内】

「フォーラムカフェ クルール」

展覧会開催中は営業 ※臨時休業の場合もあります。
メニューなど、詳細についてはホームページをご確認ください。
【時間】10:00 ~ 16:00 (ラストオーダー 15:30)

鶴岡アートフォーラム
TSURUOKA ART FORUM

〒997-0035 山形県鶴岡市馬場町13-3

TEL: 0235-29-0260 (代表) FAX: 0235-22-6051

E-mail: info@t-artforum.net

URL: https://www.t-artforum.net

